

第102回 薬剤師国家試験問題検討委員会「衛生部会」報告書

日時 平成29年5月13日(土) 13:30～17:30

平成29年5月25日

場所 キャッスルプラザ

出席者

私立大学	57校	89名
国公立大学	16校	19名
計	73校	108名

委員長名	佐藤 雅彦
所属大学名	愛知学院大学

1. 総合評価

出題範囲： 衛生薬学全体を網羅しており概ね適切であったが、前回とは逆に公衆衛生領域に関する出題が多く、食品衛生領域に関する出題が少ないなど、一部に偏りが認められた。

難易度： 全体として難易度は中程度で概ね適切であった。また、時事問題や化学構造式、衛生試験法、計算問題、図表の理解を必要とする問題など、全般的に読解力、思考力、応用力を要求する良問が多かった。

複合性： 学校薬剤師に関する問題も含め、実践問題としての内容は概ね適切であった。また、単独問題として成立する問題もあったが、全体的に実務との関連性を意識した出題となっていた。

2. 各項目の評価

1)「誤りがあると判断された問題」

特になし

2)「問題の観点から不適切である問題」

必須 問22 選択肢2に誤記があった。

誤) N-アセチルアミノフルオレン

正) N-アセチルアミノフルオレン

理論 問136 選択肢2、3に記されている「荷重係数」は、ICRP publication 103の日本アイソトープ協会による邦訳版(国際放射線防護委員会の2007年勧告)から「加重係数」に変更され、以後公的機関の報告書等では「加重係数」が用いられている。したがって、国家試験問題でも「加重係数」とすべきである。

3)「複合性が不適切な問題」

特になし

4)「授業で触れていない問題」

別紙1のとおり

その他特記事項

全体的に、曖昧な表現・表記が散見される。国家試験問題であることから、問題作成(出題)にあたって入念なチェックをしていただきたい。

理論 問121 図中の右縦軸「血中インスリン濃度(μU/mL)」の表記は、一般に「濃度(μU/mL)」ではなく「値(μU/mL)」として表記されているため、「血中インスリン値(μU/mL)」の表記が相応しい。

理論 問125 選択肢3の「リスク」は、相対危険度を示すのか、寄与危険度を示すのか曖昧である。

「リスク」表記は他の問題にも割と多く用いられていた。「リスク」表記は曖昧な表現になりがちであるため、出題するには、明確な表現に努めていただきたい。

理論 問128 選択肢2の「国際ルールの変更により死因の統計処理法が変わったことによる。」は、正確性に欠ける表現であるため、「1990年に変更された国際ルール(ICD-10)の日本への導入(1995年)により、死因の統計分類が変わったことによる。」の表現が相応しい。正解の選択肢であるため、表現をより正確にしていきたい。

理論 問131 問題文の「代謝的活性化されて」の表現は、一般に動詞として扱われていないため、「代謝的に活性化されて」あるいは「代謝的活性化を受けて」の表現が相応しい。

理論 問132 選択肢1について、Ames試験では生菌数を測定しないので、復帰突然変異の出現頻度は求めることができない。したがって、選択肢1「復帰突然変異の出現頻度」の表記は、「復帰突然変異コロニー数の増加」の表記が相応しい。正解の選択肢であるため、表現をより正確にしていきたい。

理論 問140 問題文について、「室内濃度指針値」は、室内汚染物質を一生曝露した時に健康影響のないレベルを定めたものであり、シックハウス症候群の原因物質として定められたものではない。したがって、「原因物質として」は言い過ぎであり、表現の正確性に欠ける。

実践 問227

選択肢3、5の「25-(OH)ビタミンD」と選択肢4の「1 α -(OH)ビタミンD」の表記について、(OH)が略語表記されている。代謝反応をいうのであれば、その基質の名称は正確に記載すべきである。したがって、「25-ヒドロキシビタミンD3」や「1 α -ヒドロキシビタミンD3」の表記が相応しい。

実践 問239

選択肢4の「妊娠中の喫煙」の表記は、問題リード文に「40歳男性。」と表記されているため、適切性に欠ける。ただし、この男性患者の周囲にいる妊婦に対する「受動喫煙」に関して問われている可能性もあるが、その場合でもはっきりと「受動喫煙」と記載すべきである。

選択肢5については、アルコール並びに喫煙によって誘導されるCYP分子種全てが比較の対象となってしまうので、もう少し丁寧な記述が望ましい。

3. 各問題の評価

別紙1のとおり

別紙1 第102回薬剤師国家試験問題「衛生」部会 評価表

	番号	問題の誤り			問題の適切性			問題・選択肢表現			授業で教えて		
		ある	ない	わからない	不適切	適切	わからない	不適切	適切	わからない	いない	いる	一部
必須問題	16	0	68	0	0	68	0	0	68	0	2	63	3
	17	0	68	0	0	68	0	0	68	0	0	65	3
	18	0	67	0	1	64	2	1	66	0	4	54	9
	19	0	66	0	0	64	2	0	65	1	3	58	5
	20	0	66	0	0	66	0	0	66	0	0	62	4
	21	0	67	0	0	67	0	0	67	0	0	65	2
	22	2	62	3	2	62	3	10	52	5	1	61	6
	23	0	68	0	0	68	0	0	67	1	1	66	1
	24	0	66	0	0	66	0	0	66	0	0	65	1
	25	0	66	0	0	65	1	1	65	0	0	66	0
薬学理論問題	121	0	68	0	5	57	6	4	59	5	2	45	21
	122	0	67	1	1	65	2	2	63	3	0	54	14
	123	0	67	0	2	62	3	2	62	3	2	59	6
	124	0	66	0	0	66	0	1	65	0	0	64	2
	125	1	64	1	1	63	2	2	61	3	0	63	3
	126	0	66	0	0	66	0	0	66	0	1	65	0
	127	0	65	1	0	65	1	0	65	1	0	59	7
	128	0	66	0	2	64	0	4	61	1	1	64	1
	129	0	65	1	1	64	1	2	62	2	1	55	10
	130	0	67	0	1	63	3	0	65	2	0	59	8
	131	0	66	1	1	63	3	3	61	3	2	42	23
	132	0	66	1	2	64	1	2	62	3	2	53	12
	133	0	66	0	1	62	3	1	63	2	1	47	18
	134	0	67	0	0	67	0	2	64	1	0	67	0
	135	0	66	0	2	61	3	2	61	3	2	43	21
136	0	68	0	1	66	1	6	61	1	1	66	1	
137	0	65	1	1	65	0	3	62	1	1	64	1	
138	0	66	0	1	62	3	1	61	5	0	53	13	
139	0	66	0	0	66	0	0	66	0	0	64	2	
140	0	66	0	0	63	3	1	63	2	0	58	8	

	番号	問題の誤り			問題の適切性			問題・選択肢表現			複合性			授業で教えて		
		ある	ない	わからない	不適切	適切	わからない	不適切	適切	わからない	不適切	適切	わからない	いない	いる	一部
薬学実践問題	227	0	67	1	0	64	4	1	65	2	1	63	4	2	61	5
	229	0	67	1	1	58	9	2	61	5	0	64	4	2	42	24
	231	0	63	3	4	52	10	6	51	9	1	59	6	7	32	27
	233	2	64	0	1	64	1	1	62	3	8	51	7	1	50	15
	235	0	66	0	3	62	1	0	65	1	1	60	5	3	52	11
	237	0	66	0	0	66	0	0	66	0	1	65	0	0	62	4
	239	0	67	0	1	64	2	3	63	1	1	64	2	2	56	9
	241	0	66	0	4	53	9	3	59	4	0	63	3	10	32	24
	243	1	65	0	0	66	0	3	62	1	0	65	1	2	58	6
	245	0	66	0	0	66	0	0	66	0	1	61	4	1	62	3

(注)数字は回答大学数である。